

古代の謎フェスティバル2012



「古代の謎フェスティバル2012」が10月20日・21日の2日間、王塚装飾古墳館前のお祭り広場で開かれました。23回目を迎えた今年、前夜祭ではステージイベントが、本祭では記録に挑戦やどろんこフェスタなどが行われ、大勢の人で賑わいました。

「始まりは町制50周年」

平成2年に町制50周年を迎えた桂川町。その記念事業として考えられたのが「古代の謎フェスティバル」でした。

当時は、まだ王塚装飾古墳館が建設されておらず、古墳西側の田んぼ内につくられた特設会場で第1回のフェスティバルは行われました。

内容は、古墳時代にちなんだ5種目（火おこし、木のぼり、丸太切り、やり投げ、大石運び）に挑戦や体験コーナー（竹とんぼ作りや素焼き皿の絵つけなど）、食進会による弥生猪が

ゆの無料配布などでした。そして、会場を飛び出して行われたのが「ミステリー列車・王塚古墳殺人事件」でした。

このミステリー列車は「王塚古墳で文化財担当者が殺され、青銅の剣が盗まれた」という仮定の事件をもとに、230人の参加者と7人の容疑者を乗せた4両編成の列車が桂川駅を出発。博多駅、原田駅を経由して再び桂川駅に帰ってきます。その間に、ヒントや劇団員扮する容疑者の言動等から犯人を推理するものでした。